



〒399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

TEL (0263) 53-8802 FAX (0263) 51-1290 E-mail :kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

目次

センターからのお知らせ

追加募集受付中の講座案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

チャレンジしののめ塾のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

教科教育部より

「ねえ、学力って何？教えて！①特別活動編」・・・・・・ 3

センターからのお知らせ

まだ間に合う！各部オススメの追加募集受付中の講座御案内

情報・産業教育部

9月28日(月) 義務教育に生かすキャリア教育の実践

- 小学校と高等学校における校種間連携の事例から児童生徒のキャリア形成について考えます。

11月20日(金) 授業で取り組む知的財産権

- 農業科や商業科の授業実践から、知的財産権の職業教育での取組について考えます。

12月 1日(火) 職業教育におけるICT活用の基礎

- 専門教育の学習場面に応じて、最新のICT機器を活用した実践的な授業方法を学びます。

生徒指導・特別支援教育部

8月10日(月)中学校支援 特別支援学級 基礎

- 特別支援学級の担任として、まずは押さえておきたいことがたくさん学べます。

8月25日(火)教育相談 入門

- 児童生徒や保護者への共感的な関わりのポイントを教育相談の演習を通して学びます。

長野県総合教育センター 長野県生涯学習推進センター 施設開放

チャレンジしのめ塾

平成27年8月22日(土)
10:00~15:00
参加無料



学校の先生や県民の研修施設である2つのセンターを開放して「チャレンジしのめ塾」を行います。センターの先生たちが、楽しい教室やふしぎな科学の世界、ワクワクするようなものづくり体験を用意してお待ちしています。小さなお子さんから小学生、中・高校生のみなさん、そして大人の方も、ぜひお出かけください。



場所:塩尻市片丘6342-4(東山山麓線沿い)

しのめ塾

◆参加するには**整理券**が必要です。
1階ロビーで先着順に配布

午前の部 10:10~ 午後の部 12:40~

- ・メロディ・ティッシュボックスづくり
- ・わくわく工作教室
- ・木製T字パズルづくり
- ・織ってつくるミニうちわづくり
- ・花火のひみつをしらべよう
- ・リサイクル鉢に花苗を植えよう
- ・古代人のすてきな生活(土器づくり体験)



チャレンジコーナー

◆いつでも**自由に参加**できます。
(数量限定のコーナーは先着順)

- ・プラ板キーホルダーをつくろう
- ・のぞいてみようミクロの世界
- ・プリクラシールをつくろう
- ・パネルシアターお話の部屋
- ・多面体折り紙&数学パズルに挑戦
- ・天体望遠鏡で太陽の素顔をみよう
- ・とぼしてまわして遊ぼう(飛行機、コマなど)
- ・探検・発見ウォークラリー

八月二十二日(土)

<お問い合わせ先>
 総合教育センター 0263-53-8802
 生涯学習推進センター 0263-53-8822
 <ホームページ> <http://www.edu-ctr.pref.nagano.lg.jp/>
<http://www.nagano-c.ed.jp/shogai/>

マナビィステージ
高校生によるパフォーマンス
 塩尻志学館高校 吹奏楽部・音楽部・書道

ねえ、学力って何？教えて！①



トモニ先生

『学力向上』という言葉をいろんなところで耳にするね。主に全国学力学習状況調査の結果に基づいていると思うんだけど、調査は国語、算数・数学、理科の3教科について実施されているよね。何だかこの3教科が、『学力』すべてのようにとらえられてしまっているところはないかなあ。

結果を踏まえて授業改善を進めないといけないとは思っているんだけど、他の教科とか、道徳、特活、総合的な学習の時間の準備もあるし……。思うように準備が進まないのが正直なところ。ところで、学力ってどのようなとらえればいいのかなあ。



ミガコ先生

これからの社会って、少子高齢化、情報化、グローバル化などが進み、常に新しい知識、情報、技術が求められるよね。子ども達は、変化が激しいこのような社会や複雑な人間関係の中で、新しい未知の課題に試行錯誤しながら対応しなくてはならないと思うんだけど……。

特別活動 編



そうだね。複雑で変化の激しい社会をたくましく生きていかなければならない子どもにとっては、そうした社会での生き方などについて、体験的に学ぶ場が必要だと思うんだ。だから、子どもたちが毎日生活している目の前の学校社会を教材にし、望ましい集団活動や体験的な活動を通して、実際の社会で生きて働く社会性などを身に付け、子どもの人間形成を図る特別活動は大事だね。

そうか、特別活動は人間関係を築く力、社会に参画する態度、自治的能力を育てているんですね。





なかでも学級活動(1)では、子ども達自ら楽しく充実した学級や学校の生活をつくっていくために、学級における諸問題について話し合い、集団の意志決定をするよ。だから、問題を発見する力、折り合いをつけて意見をまとめていく合意形成の能力、決まったことをもとに実践をするなかで人間関係形成を図る力を育てるんだよ。また学級活動(2)では、日常の生活や学習への適応及び健康安全に関する問題を扱うよね。ここでは、話し合い活動を経て、自己決定をして実践するという自己指導能力を育てるんだと思うよ。



このように特別活動では、他者との話し合いをして決定したことについて実践をするために、思考力・判断力・実践力(表現や実行)や主体的、実践的な態度を育むことになり、各教科の学習につながる汎用的な学力を育成しているといえるでしょう。



つなぐ先生

全国学力・学習状況調査の結果を各校で分析し、どの点をどのように授業改善として進めていけばよいか検討していくことはとても大切なことだよ。でも、数値の分析も大事だけれど、併せて自校のそれぞれの授業が、各教科・領域のねらいを踏まえ、子ども中心に行われているか、振り返ってみることも大事だよ。特に、児童生徒の実態把握に基づいた教材研究は大切にしたいね。

新コーナーの紹介

『しのめ』では今月号より、「学力とは何か」について、若手のトモニ先生やミガコ先生、ベテランのつなぐ先生とともに考えていきます。



トモニ先生



ミガコ先生



つなぐ先生